

平成29年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標

- 運動に関する本校の児童アンケートを取り、低学年において「運動（体を動かすこと）が好きです」と「体育では、精一杯運動することができます」の2項目で肯定的な回答する児童を80%以上にする。
- 平成27年の全国平均値で体力合計得点を全学年で上回る。
- 判定のA、B評価の児童を全学年で60%以上にする。

学校の状況

- ・ 児童数の急激な増加。
平成29年4月1日現在 1313名
- ・ グランドの面積が児童数と比べて狭い。昨年度プレハブ設置のためより狭くなった。
- ・ アスレチックなどの本校ならではの遊具がある。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・ 「体力づくりや外遊びなどで、体をよく動かしている」と肯定的に答えた児童の割合が87.2%である。
- ・ 「決められた時間までに寝る」と肯定的に答えた児童が80.2%である。
- ・ 「朝ごはんは毎日食べている」と肯定的に答えた児童は87.2%である。

広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- ・ 低学年において、県・全国平均値を下回っている項目が多く見られる。(男子-9/16, 女子-9/16)
また、第2学年の女子では、体力合計得点も県・全国平均値を下回っている。
- ・ 特に男女とも「50m走」(スピード), 「立ち幅跳び」(筋パワー)と「長座体前屈」(柔軟性)の3種目において、県平均値かつ全国平均値を下回っている項目が多い。(5/12)

実態把握

児童生徒の実態や体力・運動能力調査等から明らかになった課題

- ・ 低学年において、県・全国平均値を下回っている項目が多く見られる。(男子-9/16, 女子-9/16) また、第2学年の女子では、体力合計得点も県・全国平均値を下回っている。
- ・ 休憩時間のグラウンドで思いっきり体を動かすにくい。また、体育科の授業でもクラス数が多いため、時間割の関係上、低学年では学年での合同体育となり、全学年でも他学年とグラウンドの共有があり、十分な活動の場が設けられにくい。
- ・ 特に男女とも「50m走」(スピード), 「立ち幅跳び」(筋パワー)と「長座体前屈」(柔軟性)の3種目において、県平均値かつ全国平均値を下回っている項目が多い。(5/12)

取組事項

- ① 運動を楽しむことができる児童を増やすための工夫
 - ・ 児童が意欲的に楽しみながら体を動かすことができるように、本校独自の「なわとびカード」, 「遊びブック (鬼遊び)」を作成し、推奨する。
- ② 力いっぱい体を動かすことができる児童を増やす授業改善
 - ・ 授業改善には、授業導入に体力を高める運動を取り入れていく。学校全体で取り組むことができるように、体育専科を中心に提案を行い、継続的に学校全体で行われるようにする。
 - ・ 特に低学年においては、授業の始めに「遊具遊び」や「鬼遊び」, 「なわとび運動」の3つを中心に体力づくりを毎時間行う。また、「走・跳」, 「体づくり運動」の単元においてゲーム性を取り入れることで、運動に積極的に参加し、力いっぱい体を動かすことができるように、授業改善を行う。
- ③ 「体力づくり元気アップカード」の改善
 - ・ 家庭学習でも体力づくりを進めてきたが、児童の実態やこれまでの取組をもとに改善し、取り組ませるようにする。
- ④ 児童会主催「ドッジボール大会」
 - ・ 年1回、学級対抗のドッジボール大会を実施し、運動をすることを楽しむ児童を増やす。
- ⑤ 環境整備
 - ・ 「なわとびランド」等などの場所の工夫や休憩時間に遊べる遊具・道具などの工夫をして、体を動かす経験を増やす。

期待される効果

- ・ 体育の授業で力いっぱい(精一杯)運動したと感じる児童の数が増える。(児童アンケート80%以上)
- ・ 運動、外遊びが好きな児童の数が増える。(児童アンケート80%以上)
- ・ 体力が向上する児童が増える。(体力テスト 判定のA、B評価の児童を全学年で60%以上にする。)

体制

- ・ 保健主事、体育主任を中心に各学年部と連携を図りながら、体力向上に向けての指導や情報の交流などを図る。
- ・ 体力向上に向けての教職員の指導力向上を図る。

推進組織

平成29年度体力づくり推進計画 <年間指導計画> 東広島市立寺西小学校

達成目標

○運動に関する本校の児童アンケートを取り、低学年において「運動（体を動かすこと）が好きです」と「体育では、精一杯運動することができます」の2項目で肯定的な回答する児童を80%以上にする。○平成27年の全国平均値で体力合計得点を全学年で上回る。○判定のA, B評価の児童を全学年で60%以上にする。

～3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月
Plan	Do		Check	Action Plan	Do		Check	Action
結果分析・計画立案	計画に基づき実施		新体力テストの実施 結果分析	見直しと改善計画の立案 計画に基づき実施		評価 見直し・次年度の計画		
【体育科・保健体育科】	<p>授業導入に、体力が高められるような運動を仕組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊び ・遊具遊び ・なわとび <p>陸上運動系</p> <p>体づくり運動</p> <p>陸上運動系</p> <p>体づくり運動</p> <p>ボール運動系</p> <p>基本的な動きを身に付けさせるとともに「鬼遊び」等の力いっぱい体を動かし、走る力を伸ばす。</p> <p>体力テストの実施とかかわって指導を行う。体力テストに結びつく動きを重点的に行う。</p> <p>走る、跳ぶ動きをしっかりと取り入れ、走力や跳躍力・瞬発力を伸ばしていく。</p> <p>体力テストの動きに関連した動きに重点的に取り組む。</p> <p>ゲーム性を取り入れ何度も投げたり、力いっぱい投げたりする力を身に付けさせる。</p>							
【教科外】	<p>学校の休憩時間に外で遊びを進んでできるように、「元気アップカード」に記入する欄を設けたり、「遊びbook」を紹介したりするなどして、児童の外遊びを奨励していく。</p> <p>ドッジボールの練習に学級で取り組み、ボール遊びや運動に興味関心を持たせる。</p>							
【日常生活等】	<p>元気アップカードのやり方の知り、家庭で継続して運動できるように興味を持たせる。</p> <p>なわとびの技紹介をして、手軽にできる運動に興味を持たせる。</p>							
【家庭・地域との連携】	<p>元気アップカード</p> <p>上体起こしと長座体前屈などを家庭でも取り組ませる。チャレンジカードを記入させ、めあてをもって意欲的に取り組ませる。</p> <p>体力テスト（個人）結果報告</p>							